

講座・イベント情報

どなたでもお気軽にご参加ください。

※費用が明示されていないイベントは無料。
※申込期限が書かれていない場合は当日まで。

▼お申込み・お問い合わせは電話かFAXかメールでラコルタまで。

電話：06-6155-3167 FAX：06-6833-9851 メール：info@suita-koueki.org

6月28日(火) 知らないで損する 広報の基礎

単なる情報発信から一歩先の広報活動へ。

- とき：19:00～21:00 ●定員：先着20名
- 対象：市民公益活動団体の運営・広報担当者

7月29日(金) 市民公益活動 団体のための 会計相談日

税理士が無料でお答えします。

- とき：13:00～15:00 ●定員：先着2組
- 対象：市民公益活動団体の役員・会計担当者

8月5日(金) NPO法人入門講座

NPO法人制度や申請方法について解説します。
講座終了後には、個別相談にも応じます。

- とき：19:00～20:30 ●定員：先着10名
- 対象：NPO法人化を検討している団体

毎月テーマが決まっています。
どなたでも気軽にご参加いただけます！

テーマ
カフェ

6月17日(金) 私の「ワーク・ライフ・バランス」～仕事と家庭とソーシャルと～

幸せを感じるバランスを考えてみませんか？

- とき：10:30～12:00 ●定員：先着15名

7月26日(火) 大人のためのリズムあそび

ジャンベなどの民族楽器で非言語のコミュニケーションを学びます。

- 会場：千里市民センター大ホール
- とき：19:00～20:30 ●定員：先着20名

毎月開催

自分にあったボランティア活動を見つけませんか？

『市民公益活動入門講座』 各定員10名

- 6月16日(木) 13:30～15:00
- 7月15日(金) 19:00～20:30
- 8月20日(土) 10:30～12:00



私たちの団体・私たちの活動

第10回 市民公益活動団体インタビュー 復興支援すいた市民会議



<復興支援すいた市民会議への連絡はラコルタへ>

Q 設立の経緯は？

A 東日本大震災の発生直後に当時の市長が市内の市民活動団体に吹田市内への避難者支援を依頼しました。危機管理室が事務局となり、市内の208団体へ復興支援のための連携を呼びかけ、何らかの支援をしたいとの申し出のあった47の団体で「復興支援すいた市民会議」が結成されました。現在は、吹田市とも連携しながら任意団体として16団体と個人が参加しています。

Q 活動内容と今後に向けて

A 吹田市に住む避難者に役立つ情報の提供と、チャリティイベントによる被災者や被災地の復興を支援する団体への寄付を行っています。震災から5年が経ちましたが、まだまだ支援は必要です。吹田市内に支援を必要とする避難者がいなくなるまで当会の活動は続けます。

ぶちぽら 働きざかりの方や家事・勉強に忙しい方などに、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぶち)ボランティア活動」のプログラムを提供します。

ラコルタサポーター

ラコルタが行うイベントや活動を応援し、ボランティアとしてお手伝いいただきます。



↑詳しくはWebで

編集後記 ニュースレターは、毎月、何を記事にして、どのように、皆さんに見せて伝えていくか、担当のスタッフは何度も意見を交わし、試行錯誤をして記事を作り上げていきます。次号からは、より見やすく愛読される紙面作りをめざし、全面カラーでお届けする予定です。取材協力などの折には、どうぞよろしくお願いします。(岩城)

<発行責任者>柳瀬真佐子
<編集スタッフ>茨木由美・岩城奈緒美・鍵谷誠一・佐藤和男・春貴勇力 (五十音順)



ラコちゃん ルタちゃん

出会う→集う→育てる→実る



吹田市立市民公益活動センター

〒565-0862 吹田市津雲台1丁目2番1号
千里ニュータウンプラザ6階

TEL 06-6155-3167 FAX 06-6833-9851

Eメール info@suita-koueki.org

ホームページ http://suita-koueki.org

指定管理者 NPO 法人 市民ネットすいた

ラコルタへのアクセス 阪急電車千里線「南千里駅」改札出て左、千里ニュータウンプラザ6階

*ニュースレターは年4回発行(3月・6月・9月・12月)

2016年6月1日 / 発行：ラコルタ | 吹田市立市民公益活動センター

Newsletter VOL.15



ラコちゃん ルタちゃん

出会う→集う→育てる→実る



吹田市立市民公益活動センター

ラコルタのココに注目! 本号は

平成27(2015)年度 吹田市
『市民公益活動
促進補助金』
交付団体報告会

中面特集ページ! →→→→→

第4回 南千里
かえっこバザール

3月19日(土)

千里ニュータウンプラザ
2階会場

今年も大勢のご参加
ありがとうございます!

THE
ピックアップ
ラコルタの取り組みを紹介!

実行委員会との共催で「南千里かえっこバザール」を開催しました。今年は、約660名の一般来場者がありました。また、過去最多となる46名の運営ボランティアが集まってくれました。ボランティアに参加したのは、中学生から社会人まで多種多様。また、遊びに来た子どもたちにも、当日の運営を手伝ってもらいました。今回、特に力を入れたのが会場の装飾です。ダンボールの装飾や、“NPO法人ホット”の協力により、子どもたちの感性を刺激するような会場づくりも行うことができました。また来年の開催に向けて、実行委員会のメンバーも随時募集していますので、興味のある方はラコルタまでお問い合わせください!

3月26日(土)

eN
カレ

第二期

秋に第三期の開校を予定しています

「eNカレッジすいた」第二期のメンバーが修了式を迎えました。吹田市長の後藤圭二さんからお祝いの挨拶をいただいた後、事例紹介として、吹田傾聴「ほほえみ」の長谷川美津代さんから、活動をはじめたキッカケなどをお話いただきました。当日は、eNカレ一期生のメンバーもたくさん駆けつけ、卒業後の活動についても紹介してくれました。全6回3ヶ月という短い期間でしたが、eNカレで得た“学び”や“出会い”を活かし、今後の活動に役立ててもらいたいと思います。

4月19日(火)

テーマ
カフェ

車座になって意見交換

見守り保育
ボランティアさんも大活躍!

話題提供者の岡本智子さんから、母親の働き方が多様化していることに伴い、預け方の選択肢を増やしていく必要性が提案されました。その後「一時保育の充実化」や「地域とのつながりを深める」、「母親の働き方だけでなく、父親の働き方も問われる」など、活発な意見交換が行われました。これをきっかけに「仮称：保活ママの会」が立ち上がり、「保育所のあり方」や「母親が働き続けるための環境整備」などについて、継続的に話し合っていくそうです。

保活復活大作戦!
ママでも自由にはたさきたい!
※「保活」とは、子どもを保育所に入所させるために親が行う活動のこと。

平成27(2015)年度 吹田市 『市民公益活動 促進補助金』 交付団体報告会

昨年度の補助金交付を受けた14団体(補助総額約300万円)の事業報告会が、4月16日(土)にラコルタで行われました。ここでは、報告された中から、5団体の補助金交付事業を紹介させていただきます。

※この補助金は
「みんなで支えるまちづくり基金」から
支出しています。

●お問い合わせは 吹田市 市民部 市民自治推進室へ
電話:06-6384-1326

寄附も募集
しています!



団体名 ゆう・きっす

事業名：発達障がいまたはその周辺の子をもつ
親の会事業

<http://youkids2525.blog.fc2.com>



発達が気になる子を持つ親が集まり、日頃の悩みや困り事を話し合ったり、情報交換をしながら、互いにつながり、支え合うための事業です。「親の会」の開催を中心に、発達障がいに詳しい講師を招き、学校・園との上手な連携の取り方や進学療育情報等を学ぶ「学習会」や、NPO 法人なの花と共催で「家族交流会」としてキャンプなども実施しました。我が子以外の子どものふれあいを通じて、2つの親の会の交流ができ、相互の子どもの様子や困難を理解し合うことができました。

団体名
特定非営利活動法人
すいた環境学習協会(SELf)
事業名：市内公園の樹木観察と名札かけ事業
<http://www.geocities.jp/suitakankyo/>



吹田市内の84か所の公園を観察・点検し、38か所の公園で名札付を実施しました。名札付作業は、夏から秋にかけて14回にわたり、子どもの参加協力もありました。また、公園に植えられている主要な樹木を分かりやすく説明した「樹木観察の手引き～歩いて知った吹田のみどり～」(写真右)を500部作成し、樹木観察の知識が市民に共有され、市民と一体となった「潤いあるみどり豊かな環境都市」の実現が期待されています。



団体名 わたしにできることプロジェクト

事業名：語り合おう介護の魅力
～あなたの笑顔に癒される～

超高齢社会を迎え、介護のニーズは高まる一方で、介護施設に対する「負」のイメージは否めません。介護施設での暮らし、そこでの日常を伝えるために、吹田市内で働く介護職員による介護・福祉に関する発表会を行いました。介護に携わるスタッフや家族だけでなく、施設のある地域の方々にも話を聞き、様々な視点から「介護の魅力」を伝え、吹田市内の介護施設のイメージアップを働きかけました。介護にまつわるお芝居やパネル展等を実施したことで、各施設の介護職員同士が繋がるきっかけにもなりました。



団体名 音訳グループ「とも」

事業名：音訳活動の普及事業
<http://homepage3.nifty.com/onyaku-tomo/>

音訳ボランティアに関心のある市民に音訳とはどういう活動かを知ってもらうための事業です。JRPS(日本網膜色素変性症協会)大阪支部が開催する朗読会を年3回開催し、視覚障がいの方々や一般の方々に音訳活動を知っていただく機会となりました。専門講師を年5回招き、音訳講習会を実施したことは、音訳者の資質向上につながり、リスナーへの情報提供の質が向上しました。また、年2回の会報誌も毎年が続いて発行でき、今後も、広報活動に力を入れ、活動への参加の呼びかけを続けていけるようです。



団体名 モモとこどもプロジェクト

事業名：こどもの未来創造事業
<http://www.momo-family.org/>



コミュニティスペース「モモの家」を開放し、流しそうめん・焼き芋大会といった季節の行事と、らくだヨガと草のたたき染め・片栗粉あそび・防災イベントといった自然や命に関するワークショップを開催しました。現在では、親や親類、教師以外の大人とふれあう機会も少なく、これらの遊びを田舎のおばあちゃんの家のような古民家で行うことで、参加した親子は心も体も解放されたようです。

決定! 2016年度 吹田市市民公益活動 促進補助金の交付団体

5月21日(土)にラコルタにて、申請団体の公開プレゼンテーションが実施されました。審査の結果、応募団体18団体のうち、14団体が交付団体として決定しました。※(順不同)上部が団体名、下部が事業名

- ◎ 「人の輪と心を育む」ひまわり教室
聴覚障がい児の保護者及び聴覚障がい児者支援事業
- ◎ 特定非営利活動法人吹田こども・夢・未来協会
自然探検隊～ONE PIECE～
- ◎ 特定非営利活動法人 吹田市民NPO
人とひとが集い合う「輪と和のカフェ」
- ◎ ゆう・きっす
発達障がいまたはその周辺の子を持つ親の会事業
- ◎ 特定非営利活動法人すいた環境学習協会
市内公園の樹木調査と名札かけ事業
- ◎ 特定非営利活動法人 なの花
発達障がい児を持つ親の集い事業
- ◎ モモとこどもプロジェクト
こどもの未来創造事業
- ◎ 吹田市聴言障害者協会
手話等交流カフェ
- ◎ 特定非営利活動法人 すいた体験活動クラブ
体験型環境学習支援事業～児童たちが校庭で「花づくり」や「畑づくり」「ビオトープ改修」にチャレンジ
- ◎ わたしにできることプロジェクト
語り合おう介護の魅力～あなたの笑顔に癒される～
- ◎ ママGOGO
ママ元気、マチ元気プロジェクトⅡ
- ◎ 吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会
吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会
- ◎ 特定非営利活動法人 吹田市音楽療法推進会
おんがく・さ～くる・コスモス
歌とリズムの健康いきいき教室事業
- ◎ ゆずりは
障がい者地域支援事業

受
け
て
報
告
会
を

この補助金の交付は活動の大きな支援になったと、多くの団体が報告書にまとめています。昨年、ラコルタで開催した市民公益活動団体交流会でも、多くの団体が「人・モノ・金」が不足しているという共通の課題を話されました。継続的に活動をしていく事はとても苦労が伴うものです。ラコルタでは、こういった団体の悩みの解決に向けて一緒に考え、資金調達の相談を実施し、また、役に立ついろいろな講座もご用意しています。

8月
26日
(金)

“キホン” からわかる 申請書のカキカキ講座

●とき：19:00～21:15 ●定員：先着20名
●内容：助成金の申請方法など